

骨髄ドナーに対する 支援の充実についての意見書を可決

骨髄移植や末梢血幹細胞移植は、白血病等の難治性血液疾患に対する有効な治療法である。

我が国では、公益財団法人日本骨髄バンクが主体となり、骨髄等の提供を広く国民に呼びかける骨髄バンク事業が実施されており、平成29年7月末時点のドナー登録者数は47万人を超え、患者とのHLA適合率が9割を超えているにもかかわらず、移植に至るのは6割未満にとどまっている。

こうした中、骨髄バンク事業では、骨髄等の提供に必要な検査・入院等の費用が不要であるなど、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われているが、ドナーが検査や入院等で休業した場合の補償については現在も行われておらず、ドナーが多くの患者に安心して骨髄等を提供できるような仕組みづくりが喫緊の課題となっている。

よって、国におかれては、骨髄ドナーに対する支援の充実を図るため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 ドナーが骨髄等の提供に伴う入院、通院、打合せ等のために休業する場合の補償制度を創設すること
- 2 事業主向けに策定した労働時間等見直しガイドラインの中で、ドナー休暇制度を明示するなど、企業等の取組を促進するための方策を講ずること

以上の内容を可決し、地方自治法第99条の規定により衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あてに意見書を提出しました。



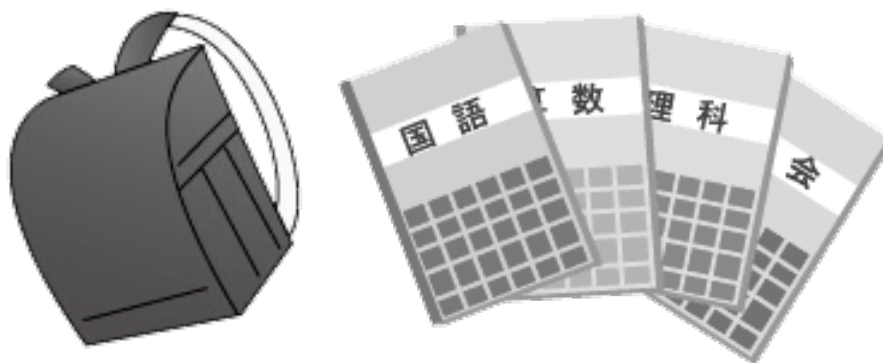
入学準備のための就学援助の 適切な実施を求める決議を可決

子どもの貧困が全国的な問題となる中、厚生労働省が本年6月に公表した2016年の「国民生活調査」では、経済的に厳しい家庭で育つ17歳以下の子どもの割合を示す「子どもの貧困率」が13.9%と依然として高い数値を示している。これは、経済協力開発機構（OECD）が14年にまとめた加盟国など36カ国の平均である13.3%を上回っている。

こういった状況の中、わが国では対象家庭の子どもが小学校に入学する際に支給する入学援助金が、小学校入学前では「児童」ではなく「幼児」であり、支給対象にならないとの見解でこれまで支給が行われてこなかった。しかし、全国的に広がる保護者の切実な願いに応え、3月以前に前倒し支給する自治体が徐々に広がるとともに、本年3月に文部科学省から「要保護児童生徒援助費補助金交付要綱」の改正を行い、入学準備金の支給を入学前の「就学予定者」にも拡大する通知がなされた。また、県内でも本年から近江八幡市で援助を必要とする場合は、例年6月に行われる所得確定の時期に拘らず申請に基づいて適切な時期に支給が行えるようになった。

こういった動向を踏まえ、本市でも子どもたちの小中学校への入学に際し、援助が必要なケースについては、該当者からの申請に基づいて随時審査を行うなどの方法で、入学に間に合う時期に必需品準備のための援助を金銭あるいはその他の方法で行えるよう適切な援助を実施することを強く要望する。

以上の内容を決議しました。



市の懸案事項の確認

新旭風車村開発事業の計画は？



高島創生会
代表質問 秋永 安次 議員

答

民間企業による滞在型宿泊施設として観光客の誘客をはかります。

問

しんあさひ風車村の開発事業の現在の計画について問う。

答 市長

このたびの新旭風車村リニューアルに際しましては、観光施設としての魅力を更に向上させ、自主運営ができる施設への転換を課題として検討してまいりました。このような中、琵琶湖畔の新たな滞在空間として、高島らしさが体感できる新たなリゾートの創造を図ることを目的として、グランピング施設を中心とした滞在型宿泊拠点施設のご提案を受けたものであります。また同時に施設整備にかかる地域経済への波及効果のほか、地域の雇用の創出や地元産材の活用、さらに相乗効果により市全体の宿泊客の増加など、高島市の将来の観光振興に大きく期待できると判断致しました。



新旭風車村（空撮）



新旭風車村

具体的な事業内容は、全体計画として総事業費19億円を予定され、まずは、来年7月開業に向けまして、風車村公園やわらべの森区域を活用し、事業費約14億円でグランピング施設のほか、レストランや温浴施設を備えたメイン棟1棟、キャビン10棟、テント13基、バーベキューサイト等を整備し、新たな観光客の誘客を図っていただくものです。

また、公募という手法ではなく、民間事業者の提案を踏まえ、その実現を目指しておりましたことから、あらかじめ議会に報告させて頂いたうえで、高島市企業誘致条例に基づき、審査会を開催していただき、その審議を経て指定事業者を決定いただきました。市におきましても、既存の老朽施設の解体撤去のほか、3基の風車の安全対策をはじめ、わらべの森の区域を中心に泉の園地を活用した芝生広場の整備や、菅沼の浚渫、また将来的に有事の際の湖上輸送の拠点化を視野に、駐車場の拡張等の整備を図ってまいります。

その他の質問

- 内部統制の抜本的取り組みはどうか
- 高島市の農林漁業について
- 今津地先の市有地の有効利用計画は
- 原子力発電施設の安全対策について
- まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について
- 老朽化が進む市営住宅対策について